

23	先進国の人口	学習日	月	日	名前：
----	--------	-----	---	---	-----

1. 少子高齢化

- (1) ... 子どもの数が減少すること
- (2) ... 老人の割合が高くなること
- (3) ... 一人の女性が一生に産む子どもの数の平均
- (4) ... 人口を維持するのに必要な出生率。現在の日本ならば、約2.1

主な国の出生率

上位 1位 ニジェール 6.8 2位 ソマリア 6.0 3位 コンゴ共和国 5.8
 アメリカ 1.7 スウェーデン 1.7 中国 1.7
 下位 206位 香港 1.1 207位 プエルトリコ 1.0 108位 韓国 0.9
 日本は191位、1.4

世界全体の出生率

1950～55年 5.02 → 1970～80年 3.92 → 2000～2005年 2.65

出生率が低い国はどんな国？

(5)

女性の社会進出が進んでいる

→ リプロダクト・ヘルス (リプロダクト・ライツ) = 性と生殖に関する健康と権利

※ 1994年にカイロで開催された国際人口開発会議で提唱された理念

※ 女性は社会的・政治的に左右されず、子どもを産む／産まないを主体的に決める権利がある
 高学歴化が進み、子育てが経済的に大変・子育てをすることで女性が働けなくなる

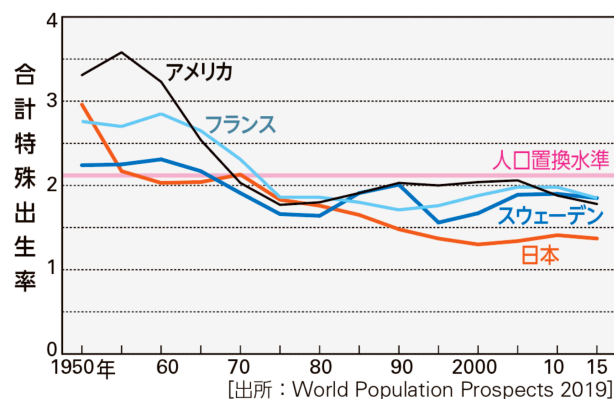
下のグラフは主な国の合計特殊出生率と高齢化率の推移です。

スウェーデンと日本に注目してください。どのような違いがありますか？

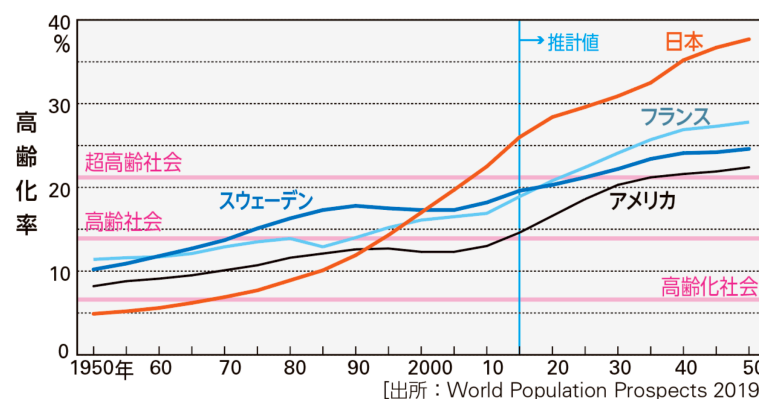
※ 高齢社会へのスピード スウェーデン = 85年、日本 = 24年

※ スウェーデンは少子高齢化をスローダウンさせることに成功している。

→ なぜなのか考えてみましょう。



おもな国の合計特殊出生率の推移



おもな国の高齢化率の推移と予測

2. スウェーデン

高福祉

- ・ 高齢者住宅の供給・医療施設の充実
- ・ (6) 制度の充実
- ・ 16歳までの児童手当、20歳までの医療給付金
- ・ 大学までの(7) が無料

高負担

- ・ 消費税(8)
- ・ 社会保障への負担率も60%を超える

→ 福祉への国の負担が課題、移民の受け入れを進める

3. 日本

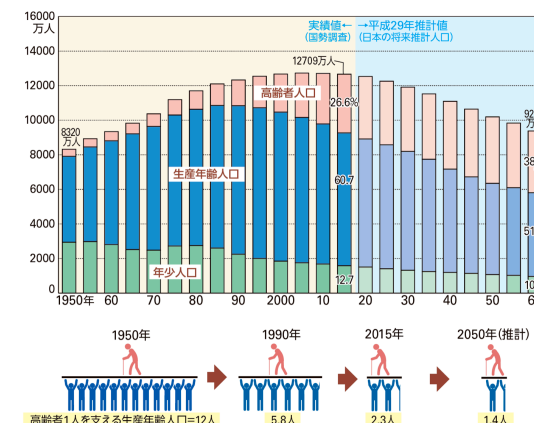
高度経済成長期 = 人口増加

2010年～ (9) となる

- ・ 生産年齢人口の減少、社会保障費の増加
- ・ 非正規雇用の増加 → 晩婚化、少子化の進展
- ・ どこでも安心して出産・子育てができる支援体制の確立
- ・ 外国人労働者受け入れの緩和

日本の高齢化率は2050年には40%近くになると予想される

少子高齢化によって、どのような問題が起こっているか、考えてみよう。



日本の人口の推移と、高齢者1人を支える生産年齢人口の変化